

なお、「品質」を優先項目にすると自店舗からの受注合計である 233,000 個を充たすことができなくなってしまうため、「品質」を優先項目に挙げる回答は妥当ではない。

また、フードフェスタへの納入に関しても、M&M マートへの納入を最優先にしていれば、どの優先項目を設定していてもハンバーグの納入は可能である。ただし、関東ゾーン各店舗への納入とフードフェスタへの納入の優先項目をともに「コスト」とすることはできない。なぜならば、一方への納入コストをミニマイズするためには低輸送コストのハンバーグから数量設定する必要があり、その時点でもう一方のコストを最も低く抑えるということとはできないからである。

(設問 2)

設問中の在庫と生産数量が、必要数量に対し不足していることから、他の方法で不足分を補う事が出来るかを試す設問である。

つまり「案件 4」から不足分を補う必要があるのである。

これに気がつかないと、不足分が生じ納品計画が作成できない。

(設問 1 と設問 2)

設問 3 での意思決定が論理的に成り立つかを評価する為のもので、正解は存在しない。

逆に論理的に成り立たないものは、不明確な意思決定として評価されると考えるべきである。

例えば回答例の場合は意思決定している優先項目と設定数量に整合性があるので、評価されるべきである。

しかし、逆に優先項目に納期と選んでいるのに、納期に商品が揃わないケースは論理性が欠けると判断されてしまう。

次に優先項目と設定数量に整合性がないケースを挙げているので確認してほしい。

設定数量と設定根拠が合わない一例

×M&M マートにおいて納期優先になっているにもかかわらず、最大生産数から数量を設定している。

(追加生産されたハンバーグが配送されるのは最短でも 2/1 となり、納期遅れに